

熱帯劣化林と二次林の 再生と管理、修復についての ITTOガイドラインの評価

ガーナ、インドネシア、メキシコの
ケーススタディーから

キャサリン・バックingham、サラ・ウェーバー共著

写真提供：Paula Stone/PA/ATJPR

多くの熱帯諸国では、一次林のほとんどが消滅してしまいました。そのため、熱帯木材生産諸国では劣化林や劣化二次林が優勢になってきています。しかしながら、このような劣化林を適切に再生して管理することができれば、流域や土壌を保護し、土地を安定化させ、生物多様性という価値ある資源を供給し、炭素を隔離することも可能になります。

この評価レポートが『熱帯劣化林と二次林の再生と管理、修復についてのITTOガイドライン』を改訂する機会となるだけでなく、森林景観再生に関するグローバルパートナーシップ (GPFLR) 内におけるITTOの比較優位性を強化することにもつながると考えています。

ガーナ、インドネシア、メキシコのケーススタディーから、ステークホルダー・プラットフォームを整備し、コミュニティの参加を実現することができれば、森林再生活動に関する十分な情報を得られる上に、同活動への継続的な取り組みが可能になることが示されました。さらに、森林再生活動の利点とインセンティブを効果的に結び付ける方法、ガバナンス、および統合管理システムの三点それぞれが複雑に絡み合う重要な課題として浮かび上がりました。経済的代替案を森林業界に提供することは、森林再生事業の実施にあたり非常に大きな問題となっています。民間企業と一緒にこうした課題に取り組んでいくことが持続可能なバリューチェーンの形成にとって重要であり、また景観アプローチも持続可能な土地利用と管理を促進するために不可欠と言えます。



国際熱帯木材機関
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
パシフィコ横浜
横浜国際協カセンター5階
Tel: 045-223-1110
ウェブサイト: www.itto.int



WORLD
RESOURCES
INSTITUTE

世界資源研究所
10 G St. NE, Suite 800
Washington, DC 20001
USA
Tel: +1-202-729-7600
ウェブサイト: www.wri.org